

静観台グループ例会

於：幡多小学校会議室 2000. 6. 7

参加者 高松（仁美小） 倉橋（幡多小）
田辺（福浜小） 福井（伊島小）

[リードスイッチモーター] 高松

今週はリードスイッチモーターがセパレートタイプにデザイン的には福井はこっちの方が好みですが、子供に実験させるには前のタイプの方が確実なようです。そろそろ素材開発も煮詰まってきたようですので、ここまでのノウハウをペーパーにし、さらに授業ではどのように使えるのか、もう一段進めてみてはいかがでしょうか？

[浮羽ウイング] 高松

ふわふわとグライダーのように滑空する不思議なタネアルソミトラをモデルにして発砲スチロールペーパーで作った浮羽ウイング（福岡県浮羽町が町おこしの一環として取り組んでいる）を製作しました。これまでは発砲スチロールを薄く切るのが難しくて、やりたくてもなかなかできなかったのですが、この浮羽町にある商工会館の「浮羽ウイングの会」に連絡すれば1枚百円で売ってくれるようです。 電話 09437（7）2239
FAX 09437（7）7509

[ロール紙の仕入れ先] 倉橋

以前、倉橋先生が紹介してくれた幅50cmのロール紙の仕入れ先ですが、国道2号線バイパス近くの広進社印刷のごみ捨て場（？）だそうです。アイディア次第でいくらでも使い道のありそうなお宝も、産業的にはゴミなんですね。

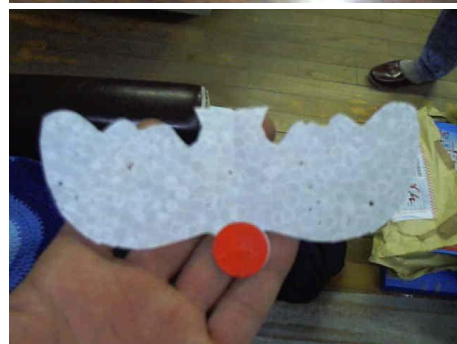
[ダイナミックコイン] 田辺

今週の田辺先生アワーは、百円玉が現れたり消えたりするダイナミックコインという手品です。ついでに福井も「呪いのワラ人形」と「デジタルマジックランプ」という2種類を持ってきました。

[本の紹介] 福井

『理科実験の盲点研究』金山廣吉，東洋館，1900円
『科学の実験無事88』左巻健男，科学技術振興事業団
『科学実験における事故事例の考察』科学技術振興事業団
『おもしろ科学モノ情報200選』後藤富治，日本書籍，1600円

さいごの科学モノ情報は実験・ものづくりの紹介と材料の入手先をかなり詳しく書いています。



この2冊は理科の実験やもの作りでの事故の事例集です。かなり怖いです。